

大津町の収納業務の効率化支援について

肥銀オフィスビジネス株式会社（代表取締役社長 小田俊一郎）は、大津町との間で業務委託契約を締結し、下記のとおり、収納業務の効率化を支援してまいりますのでお知らせいたします。今後もグループ一体で自治体および事業者の課題解決に取り組み、地域経済の活性化に貢献してまいります。

記

1. 受託事業名

税金等の領収済通知書（以下「収納証拠書」という）の電子化業務

2. 目的

収納証拠書の電子化（画像データ保管）により、以下の業務効率化を図るもの

- （1）従来、当日対応が困難であった収納および消込エラーの確認
- （2）画像データは過去分も含めて即時検索が可能（検索ツールは肥銀オフィスビジネスが提供）
- （3）収納証拠書の現物保管（10年間）の廃止

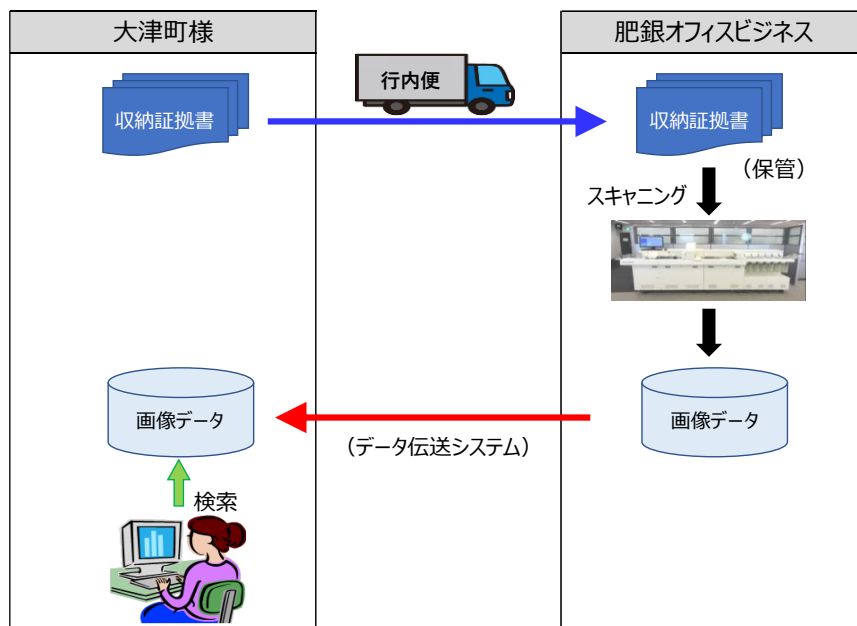
3. 電子化の効果

電子化移行により、事務作業の削減やリスク管理態勢が強化

- （1）現物廃止による担当者の事務削減時間（毎日30分）
- （2）災害リスクの軽減、現物の誤廃棄や紛失リスクの予防徹底

4. 事業期間

2026年4月1日～2027年3月31日（年度終了後、1年間自動更新）
本事業を機に、大津町様の業務効率化を継続的に支援してまいります。



《本件に関するお問い合わせ》
肥銀オフィスビジネス アウトソーシングビジネス部
鹿末
096 - 342-6696

【大津町の概要】

自治体名	熊本県菊池郡大津町
人口	36,006人（2025年3月31日）
首長	金田 英樹
公式HP	https://www.town.ozu.kumamoto.jp
特徴産業	<p>大津町は熊本市の東約19km、熊本市と阿蘇山の間地点にあります。阿蘇外輪山山麓から西側へ緩やかな傾斜をなして広がる北部畑地帯、阿蘇山を源として東西に貫流する白川の豊かな流れによって南部には肥沃な水田地帯を形成しています。南北に国道325号と東西に国道57号が伸び、熊本駅から大分駅間を結ぶJR豊肥本線が町中心部を東西に横断し、さらには阿蘇くまもと空港や熊本ICにも近く、交通条件に恵まれた町です。人口は令和2年の国勢調査で3万5千人を突破し、今もなお増加を続けています。町には4つの工業地帯があり、産業の進展、四季折々の自然の風景、人々の暮らしの風景、生活環境基盤の整備など、バランス良く調和し発展を続けています。</p> <p>本田技研工業(株)熊本製作所をはじめ、室工業団地、熊本中核工業団地、大津南部工業団地などがあります。恵まれた環境や地理的条件が、製造業を町の主要産業へと押し上げ、県内ではトップクラスの製造品出荷額を上げています。</p> <p>県内で一番のからいも（甘藷）の産地。「大津のからいも」として全国的に売り出しており、そのおいしさと品質のよさは消費者に好評です。また、米・麦・野菜をはじめ、酪農・肉牛の生産などの農業も盛んです。豊かな大地と水、そして生産者の熱意が大津の宝を生み出しています。</p>
新たな取り組み 出来事	<p>熊本県大津町は、半導体関連企業の進出に伴う企業誘致やインフラ整備、デジタル技術を活用した住民サービスの向上、および町全体を「交流の拠点」とする観光・まちづくりブランドの推進に注力しています。</p> <p>大津町が重点的に進めている主な取り組みは以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none">産業振興とまちづくり<ul style="list-style-type: none">企業誘致とインフラ整備：半導体関連産業の進出を積極的に受け入れ、工業団地の整備や道路・排水路などのインフラ整備を推進しています。立地適正化計画：町全体の均衡ある発展と持続可能な生活環境の維持を目指し、都市計画の策定・改定を行っています。デジタル化（DX）の推進<ul style="list-style-type: none">デジタルで今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち：「大津町DX推進計画」を策定し、行政手続きのオンライン化など住民一人ひとりがメリットを感じられるデジタル化に取り組んでいます。観光・交流ブランドの強化<ul style="list-style-type: none">「熊本に泊まるなら大津町」：参勤交代の宿場町としての歴史を活かし、滞在型観光を促進。「泊まる」「立ち寄る」をテーマにSNSや多様なメディアを通じた戦略的なプロモーションを展開しています。